

しんじょう

2011.7.26

市議会だより

113



ひびけ鼓動
かむてん公園まつりオープニングセレモニーから

平成23年6月定例会

■ 本会議の審議から	2
■ 11議員による一般質問	3
■ 常任委員会の審査から	9
■ 新議会の構成決まる	10
■ あとがき	12



一般会計は8,904万7千円を追加し

総額 141億5,379万7千円となりました

23価肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書を提出しました

本会議の 審議から

6月定例会に市長から出された案件は、一般会計繰越明許費繰越計算書等報告2件、人権擁護委員についての諮問1件、監査委員の選任、市税条例の一部改正、公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結など議案4件。平成23年度の一般会計、特別会計の補正予算3件。さらに最終日に議案4件が追加され、合計で14件でした。

一般会計補正予算

南部保育所について

議員 南部保育所2歳児室の増築に伴い定員などはどうなるのか。

福祉事務所長 南部保育所の増築により、定員は最大で25名増となります。新庄保育園の増築分によつて増える定員も25名で、合計すると50名分増えることとなります。それに伴い定員50名で運営していた、乳幼児保育所の分が不要

慎重審議の結果、14件すべて、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに8904万7千円を追加し、総額141億5379万7千円となりました。議員から議会改革特別委員会の設置についての議案が提出され、常任委員会からは、23価肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

それでは本会議で話し合われた内容から補正予算についてご紹介いたします。

になりますのでこれを廃止していく予定です。全体の保育定数は変更せずにいきたいと思っております。



6月定例会の経過

10日(金)	開会 (議案説明等)	16日(木)	常任委員会 (産業厚生)
11日(土)	休会	17日(金)	休会
12日(日)	休会	18日(土)	休会 (本会議準備のため)
13日(月)	本会議 (一般質問6名)	19日(日)	休会
14日(火)	本会議 (一般質問5名)	20日(月)	休会
15日(水)	常任委員会 (総務文教)	21日(火)	最終日 (本会議準備のため)

認めあい

支えあいが

人の愛



一般質問

一般質問は、6月13日と14日の2日間、11名の議員が行いました。質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

一般質問の質問者と質問事項

奥山省三

- 1. 放射能汚染について
- 2. 当地域の地震、災害対策について
- 3. 雇用対策について

伊藤操

- 1. 道路の整備について
- 2. 市指定のゴミ袋について
- 3. 介護について
- 4. 視覚障がい者の支援について
- 5. 新庄養護学校について

小関淳

- 1. 記録的な豪雪と、東日本大震災、原発事故による放射能汚染などで、市民に強い不安が広がっている。この状況下での新庄市の方向性について質問をする。

山口吉静

- 1. 将来的に大震災の可能性に対して
- 2. 東日本大震災による新庄市被害者受け入れ現状について伺います。
- 3. 地方に多い交際経験ない男女の出会いの場ふやしてほしいことをお伺いいたします。
- 4. 子育て支援策の充実についてお伺いいたします。
- 5. 老人ホームについてお伺いいたします。
- 6. 市債残高について伺います。

佐藤義一

- 1. 農業について
- 2. 除排雪について
- 3. 学童の通学路について

佐藤卓也

- 1. 第4次新庄市振興計画「新庄まちづくり総合計画」について

高橋富美子

- 1. 地域防災体制について
- 2. 今夏の節電目標について
- 3. 健康づくりの推進について
- 4. 読書活動の推進について

小嶋富弥

- 1. 東日本大震災を受けて
- 2. 地方医療について
- 3. 地域経済の活性について

佐藤悦子

- 1. 原発災害への対応とエネルギーの地産地消への転換
- 2. 市民にあたたかな福祉サービスの復活を
- 3. 災害に強いまちづくりとして
- 4. 米飯給食の拡大で、子どもの健康・長寿の食習慣を身につけさせよう

石川正志

- 1. 萩野地区小中一貫校建て替えについて
- 2. 農商工の連携による新庄市の活性化の計画は、どのように進めているのか。

遠藤敏信

- 1. 新庄市の防災対策について
- 2. 平成22年度の雪対策について
- 3. 街路樹事業について
- 4. 被災者支援について



放射能汚染について

奥山省三

◎当市の水道水の水源地の放射線物質についての測定値はどうですか。基準はどのようになっていますか。学校では子供達に対して安全対策の指導はどのようにしていますか。当地域の農産物への影響はどの程度ですか。常時、測定値を公開できますか。

市長 水道の主水源、金山浄水場の測定を行いました。放射性物質は検出されておりません。厚労省が定める摂取制限値は、一般の人で放射

性ヨウ素が水1キ口当たり300ベクレル、放射性セシウムは200ベクレルとなっております。市の放射線測定数値は、参考数値を把握するためのもので、公表はしておりません。また、県の検査による最上地域の農産物及び土壌については、暫定規制値を超える放射性物質は検出されておりません。しかし隣県での事故でもあり、今後の風向き等で影響が出る可能性も考え、非常に危機感

をもつて見守っているところです。

教育長 小中学校の児童生徒に対して、学年等に応じ原子力や放射能・放射線に関すること、今回の地震・津波・原発事故を取り上げ、命の尊さや自分の身を守ることを指導してきました。今後も正しい情報収集に努め、子どもの心身の健康と安全の確保を最優先に対応してまいります。

◎雇用対策ですが、地元に残って働きたいという若者の雇用の場の確保対策はどのように行っていますか。

市長 地域特性、企業特性を生かした戦略的な誘致活動に取り組んでまいります。新たに起業する若者等を支援する補助事業や起業しやすい環境作り、成長が見込まれる分野の調



査研究に努めてまいります。



あたたかい市政に向けて

伊藤 操

◎市で支給している介護用品の一部を、個別の対応にして頂きたいと思っています。体質や病状は一人・一人異なるものであり、本人・家族や介護に携わる介護職員の声に、もつと耳を傾けてはいかがか。

市長 紙オムツの支給については、種類を少なく同一品とすることで低価格での支給が可能となっております。契約品の種類が多くなれば、一種類あたりの枚数が少なくなり単価が高くなってしまいます。

多くの利用者からは、決められた上限額の中で利用枚数を多くできると喜ばれておりますが、決められたもの以外を支給する場合は必要枚数を充たすことができない場合も出てきてしまいます。必要枚数の全てをまかなえるようにはなっていないのが現状です。なるべく多い数量を要望む方や、数は少なくとも使いやすいものをという方もおります。なるべくその方に合ったものを支給できるように考えていきたいと思えます。

◎市指定ゴミ袋は、もつと使い勝手の良い物に変更すべきと思います。



高齢者や障がいのある方々の生活不安を取り除く一つの方法と考えます。

市長 ゴミ袋につきましては、使い勝手の面、価格の面等様々な要素がございますので、多くの市民が使い勝手がよく安価なものとなるよう改善検討に努めてまいりたいと考えております。

環境課長 ゴミ袋の価格については、ゴミの処理費などを考えあわせて単価を決めておりますが、他市の状況を見ていきながら、なお一層使い勝手の良い形状、価格等を考えていきたいと思えます。



混沌とした社会状況下における新庄市の方向性について

小関 淳

◎市長は、民間が進める「下田町の大規模商業施設・宅地開発計画」を計画の申請があれば拒めないと言うが、かつて経験したことのないような厳しい状況下でも考えは変わらないのか。

市長 下田町の開発計画については、平成19年度に二つの業者より連名で開発行為の事前協議の申し出がありました。その後、中斷している状況にありますが、その後の、その他の業者も含め開発行為等の申し出はありません。

今後、他の地域も含め、開発行為等の申し出があった場合は、都市計画、用途地域等を勘案し開発指導要綱に基づく事前協議を行い、都市計画上の市の意見を十分反映してもらうなどの対応をしてまいりたいと考えております。

◎真剣に市民の、特に子どもたちの安心安全を考えるのならば、市独自で放射線量のモニタリングをすべきではないか。

市長 放射線量の測定は国と県任せにしているわけではありません。県内でもいち早く放射線量計を買い求



め、定期的な検査を行っております。しかし、その数値の公表については、放射線量を線量計から算出する際の計算方法が非常に難しいこと、山形や米沢といったモニタリングを行なっている地域とあわせた状況判断が必要となることなどから、一方的な公表は差し控えております。

今後も、放射線測定数値を見守りながら市民、農畜産物等の安全・安心の確保に努めてまいりたいと考えております。



子育て家庭の 経済的負担の軽減を図る

山口 吉静

◎福祉施策を一層充実させる子供の医療無料化は、現行の未就学児から小学三年までに、入院費の無料化は現行の小学六年以下から中学三年までに、拡大をお伺いいたします。

市長 子育て支援医療給付制度の内容としては、外来、調剤、入院した場合の自己負担に対し、助成が受けられる制度です。助成内容は、所得税の課税の有無によつて違いますが、乳幼児、小学生を持つ大部分の家庭の医療費軽減が図られております。本市の場合は、県の制度に即して実施しておりますが、他の市町村では、独自の上乘せ助成をしているところが多くあります。そのため、助成内容がバラバラで分かりにくさと不公平感が生じており、また、医療機関の窓口事務の煩雑化も問題になっております。今後とも、子育て支援医療給付事業については、市町村の財政力に左右されないように、国や県に対し制度の拡充を要望してまいりますと考えております。

◎少子高齢化が顕著な地方は、都市と比べると交際経験が少ない男女が

多いと、内閣府の調査で分かった。市として、男女の出会いの場をふやすことは出来ないか伺います。

市長 男女の出会いの場づくりは、市の将来にとつて重要な課題の一つと思っております。

当市では、最上地域全体での婚活事業を行なっており、その企画の中には、交際経験のない男女の出会いの場も設けております。昨年は15組のカップルも誕生しました。今年度も引き続き共同で婚活イベントの企画を予定しております。



耕作放棄地の現況把握と対策

佐藤 義一

◎新庄市内における、農地の荒廃と景観を損ね病害虫の発生源となる耕作放棄地の現況把握をしておられるのか、また解消に向けたどのような対策をとっておられるのか。

農業委員会会長 耕作放棄地の現況把握につきましては、農地パトロール活動などにより毎年調査を実施しております。

昨年度の調査では、遊休農地は約29haとなっており、中には原野化が進んでいる農地も見受けられます。

今後の対策として、農地パトロールの徹底、遊休農地の所有者等への相談、指導活動の強化等により一歩踏み込んだ対策に取り組み、遊休農地の解消と農地の有効利用に向けて一層努めてまいりたいと考えております。

◎児童の通学路の危険個所の把握と解消に向けた対策をおたずね致します。3キロもの道を通学する児童もおります事から危険個所の改善をお願い致します。

教育長 児童・生徒の通学路の安全対策につきましては、従来より力を

入れてまいったところ です。

特に、小学校においては、PTAや地域の役員の方々と連携し、通学路の危険箇所には、注意を喚起する看板を設置するとともに、危険箇所を記したマップを作成して、児童・生徒への安全指導と保護者への情報提供を行つてまいりました。

今後とも、関係各課との協議、警察など関係機関への要請を行い、また、地域の支援をいただきながら、安全指導の強化に努めていきたいと思っております。





まちづくり活動に 参画しやすい環境整備について

佐藤 卓也

◎小規模でもイベントを企画実施しやすい環境を作り、たくさんの方が参加できるようにサポート体制や、コミュニケーション支援を今後どのように進めていかれるのでしょうか。

市長 イベント開催にあたりましては、社会教育施設や公園等の、開催できる場の環境整備、リーダーの育成や各種団体の支援など自主的に活躍できる環境を整えてまいりました。その環境の一つが「ぶらっと」です。例えば、会議などの資料作りのために印刷機など自由に使えるようにという要望に応え、部屋の外に設置しました。有料ではありますが、多くの団体に使っていたいております。小さなイベントを数で繋いでいくことは大きなことです。イベントは、目的ではなく、企画力、先の見通しなどを学ぶ体験の場だと思います。そして地域のリーダーとなり、みんなと手を携えながら地域の活性化にどう資していくのかということだと思います。

◎市民活動交流ひろば「ぶらっと」の方向性や広報のしかた、周知の方

法など、どのように進めていかれるのでしょうか。

市長 「ぶらっと」は、市民活動に必要な情報提供のほか、市民活動団体の設立、事業の企画、資金計画などの相談事業、企画時の団体同士のマッチング支援・助言、設備の提供を主として、市民活動団体と行政との橋渡しの役割も果たしております。市報やイベントを通してPRしておりますが、これからも市民活動の紹介などと合わせ市民の認知度が高まるように周知に努めてまいります。



子ども医療（乳幼児医療）費 負担の軽減拡充を

高橋 富美子

◎子ども医療の無料化拡大について入院・外来費ともに現行より、対象年齢を引き上げてはどうか。

市長 子育て支援医療給付制度は、乳幼児に加え小学生の入院も対象とした制度となっております。

現在本市では、県の制度に準じて実施しておりますが、県の制度に加えて独自の助成を行なっている市町村も多くあります。このため、地域による不公平感が出ないように、制度の拡充について国・県に要望しております。また、本市単独の拡充については、優先順位をつけながら検討してまいりたいと考えております。

◎新庄市は自主防災組織率が他の地域に比べて低い現状にあります。今回の東日本大震災を踏まえ、災害対策強化の観点から地域防災計画、自主防災組織の具体的な見直しについてお尋ね致します。

市長 現在の防災計画は、平成13年3月に策定したのですが、この度の大震災を教訓として新庄盆地断層帯の評価の改定、複数の災害の同時発生等も含めた被害想定の見直し、

これまで実施した災害対策の検証と課題の検討を行い、計画の見直しを図りたいと考えております。

また、市民の防災知識と防災意識の向上を図り、地域の自主防災組織の育成強化を図ることが必要と感じております。大震災を契機に、新たに自主防災組織の立ち上げを計画している町内もありますが、一つでも多くの地域自主防災組織の育成強化を図ってまいります。自助・共助・公助という防災対策の基本に基づき防災対策の強化に努めてまいります。





誇らんいざや新庄市に

小嶋 富 弥

東日本大震災の教訓を生かした、新庄市の町づくりを伺います。

◎市役所が、壊滅的災害に合っても、行政情報（住民基本台帳等）の保持保全是、大丈夫ですか

市長 この度の震災を教訓に、行政機能の維持のために、住民記録の基本的なデータの保管の新たな仕組みや、停電時にも住民情報の照会や証明書の発行ができるシステムの構築を早急に行いたいと考えております。具体的には、取り外し可能なデータ保存専用の電算機器を増設し、小型発電装置を使って、住民情報の照会や証明書の発行ができるようにしたいと考えております。また、長時間の停電発生に対応できる予備電源の確保・整備も図ってまいります。

総合政策課長 行政情報の保存については、将来的には、遠隔地のコンピュータに蓄積させ、もし何かあったときには速やかに復元できるシステムを考えております。当然ですが、情報の漏洩など起こらないように十分な環境整備が必要と考えております。

◎市の庁舎に、長い時間停電になっても、計画的停電が実施されても、市民が求める証明書等の発行又市民の安心、安全を期するため自家発電装置設置の、お考えは

市長 この度の震災を教訓に、長時間の停電発生に対応するためには、予備電源の確保が必要であると思っております。今ある自家発電機器の使用はもとより、新たに発電機器を整備していきたいと考えております。

◎原発依存をやめ、自然エネルギーによる地産地消への転換は。原発災害の放射能測定の結果を情報公開し、被害を最小限にするためにも学習会開催を。被災者支援の生活費支給は。

市長 本市における放射能については、定期的に測定、積算しています。この測定値、積算量の公表については、数値の解釈、計算方法等が非常に難解で、単純な値として公開できるものではなく、信頼できる情報のみを開示していきたいと考えております。いたずらに風評に惑わされ、被害が誇大宣伝されることの無いように慎重に取り組んでいきます。

自然エネルギーについては、理想的ですが、市庁舎での太陽光発電の実験では、冬の屋根の積雪により発電が出来ず、風力は新庄辺りでは弱まってしまつたなど非常に難しい環境にあります。挑戦は挑戦として一つ一つ進めてまいります。

原発被災者の方に対する支援についても、行っていきますが、市単独での金銭的な給付は考えておりません。

◎財政がよくなった今こそ、あなたたかな福祉サービスの復活が1800万円の支出でできるのではないか。体の弱い高齢者の家の前に、市道除雪の雪をおかないようにできないか。

市長 福祉サービスの復活は、今後予想される財政負担、公的施設の耐震化等を考え、また、サービスの新たな仕組みもできてくることから慎重に進めていきたいと考えています。高齢者世帯宅前の除雪された雪については関係各課と連携を図り平成20年度から既に実施しております。

佐藤悦子

原発は、なくし
あなたたかな福祉のまちづくりを

佐藤 悦子





萩野地区小中一貫教育校建設と 農商工連携について

石川 正志

◎萩野地区小中一貫教育校建設に向けて、地元コミュニティの中核としての機能は。太陽光、風力など再生可能なエネルギーを活用しては如何でしょうか。

教育長 小中一貫教育の効果の一つに「地域に根ざした学校づくり」を実現し、義務教育期間を通して、学校・地域の連携の輪を広げることができるとをあげています。基本計画において、地域の潤沢な教育資源や人材を活用し、この地域だからこそできる教育活動を仕組むとともに、学んだことを地域に発信することで地域を元気にする学校を目指します。

小中一貫校における電力・暖房等については、環境負荷の低減や自然エネルギーの活用、林業資源からなる新しい燃料等の活用も視野に入れ検討していきたいと考えております。

◎中心商店街に高齢者向けにサービスステーションを設置して地元の食材を活用した弁当などをお届けする事業を展開しては如何でしょうか。

市長 新庄TCMでは「買物代行サービス」を、新庄商工会議所では



高齢者対象の産直販売を兼ねた「憩いの場」創出事業を始めています。また、社会福祉協議会の事業として弁当を届けるサービスや、民間でもおかずだけを届ける事業を行なっておりますが、いずれも配達費用を事業者で負担できるかどうか、利用者増減のポイントと思われれます。

経営的に安定させることが難しく、行政が直接事業化するわけにはいきませんので、事業をスムーズに進めるための環境整備などを行いたいと思っております。



災害に強い、 美しいまちづくりのために

遠藤 敏信

◎消防団のない町内会や新たに居住者の多くなった地域に自主防災組織づくりを仕掛け、促す計画はないのか。又、消防団員の定数に対する充足度合について伺いたい。

市長 災害が発生した場合、被災状況の把握、被災者の救助・救出が最優先事項です。そのためには、地域の組織的で迅速な対応と防災機関・団体との連携した活動が必要です。地域の自主防災組織の果たす役割は重要かつ不可欠なものがあります。

今回の大震災のように長時間の停電になった時は、情報手段としてFM放送の活用が有効だったと聞き一つの手立てとして今後考えていきたいと思っております。

環境課長 自主防災の組織化については、現在38組織となっております。防災組織の育成強化を図るといこととで補助金の制度もありますし、新たに設立を考えている町内には説明会も実施いたします。現在3町内で新たに設立に向けた説明会を実施しております。なお、消防団員については、定数1194名に対し、現員



は1151名となっております。

◎整然と街路樹が並ぶ並木道は美しいが、その逆は見苦しい。欠損したスペースに、補植（植え直し）をする意向はないか、伺います。

市長 街路樹の植栽事業は、補助事業の道路改良工事の一環として行なっているものがほとんどであり、植栽から数年を経たからの枯れ木の補植までは、残念ながら対応できかねている現状です。これから空いている植樹帯に、町内のご協力をいただきながら、花を植えるなど行なうまいります。

常任委員会の審査から

総務文教

総務文教常任委員会に付託された議案1件の審査状況を紹介します。

税務課から、東日本大震災の被害に遭われた方々を対象として、雑損控除、住宅ローン控除及び住宅用地の価格のそれぞれの特例を認めるために改正を行うとの説明がありました。例えば、住宅ローン控除については、住宅が津波などにより無くなり、居住できなくなった場合についてもその住宅に係る住宅ローン控除を認める内容です。

委員より、被災証明に関する質問があり、税務課から、被災県に不動産等を持っている場合で、その不動産等に損害が生じたときは、その被災県の自治体で被災証明を出してもらうことで、損害を受けただかどうかを判断するとの答弁がありました。

採決の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

産業厚生

産業厚生常任委員会に付託された案件の中から請願1件の審査状況を紹介します。

◆請願第2号23価肺炎球菌ワクチンへの公費助成についての請願

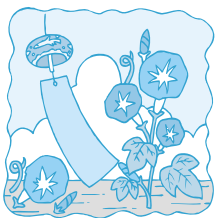
紹介議員の説明では、肺炎にかかるとは高齢者が非常に多く、死亡の理由の第4位に位置している。このワクチンを接種することで、肺炎による死亡率が下がる。最上地区では新庄を除きすべての町村でこのワクチン接種の助成を行っているようであるとの説明でした。

委員から、このワクチン接種の対象者数と費用はどのくらいかとの質問があり、健康課より、仮に対象者を75歳以上とした場合、約5500人である。所要額としては、助成額を2分の1の4000円とし、接種率を高齢者インフルエンザワクチンの接種率約45%と同様に考えると約1000万円強になるとの説明でした。

また、委員から、施設に入

所している方の場合、医師が往診してワクチンを接種するのか。また、認知症など自分の判断でワクチン接種を受けたいと言えない場合は家族の方の同意を得るのかとの質問があり、健康課からは、基本的には各医療機関に出向いて接種していただくことになるが、施設に入所している方の場合、施設の嘱託医に相談すれば、対応していただけるのではないかと思う。また、認知症など自分で判断ができない高齢者の方などについては、インフルエンザワクチンの場合、保護者や身元引受人など、ご家族の同意を得て接種しており、肺炎球菌ワクチンについても、実施する場合は同意書を求めることになると思うとの説明でした。

採決の結果、請願第2号は全員異議なく採択すべきものと決しました。



議会を傍聴しませんか

—市民の皆さんの意見が反映されていますか—

どなたでも議会を傍聴することができます。当日直接議会事務局にお越しくください。受付簿に住所・氏名を記入していただく他は、面倒な手続きはありません。

(傍聴席に限りがありますので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。)

9月定例会の予定

9月30日(金) 開会

10月3日(月) 一般質問

4日(火) 一般質問

5日(水) 常任委員会

6日(木) 常任委員会

7日(金) 決算特別委員会

11日(火) 決算特別委員会

14日(金) 最終日

請願締切は9月16日(金)までとなっております。

※一般質問者数により若干日程が変わります。

構成決まる

正・副議長、各常任委員など
ました。



議長 沼澤 恵一

常任委員会



産業厚生

- 上段右から 奥山省三 森儀一 伊藤操 佐藤義一
- 下段右から 山口吉静 副委員長 佐藤悦子 委員長 遠藤敏信 平向岩雄



総務文教

- 上段右から 清水清秋 小野周一 高橋富美子 佐藤卓也
- 下段右から 新田道尋 副委員長 石川正志 委員長 小関淳 小嶋富弥



議会運営委員会

- 上段右から 清水清秋 遠藤敏信 小関淳
- 下段右から 新田道尋 委員長 小野周一 副委員長 奥山省三

議会改革特別委員会

- 委員長 小関淳
- 副委員長 佐藤卓也
- 委員 小野周一 石川正志 奥山省三 伊藤操 小嶋富弥 山口吉静

新庄市議会会派

開成の会 (7名)
代表 奥山省三

絆の会 (6名)
代表 清水清秋

祥新会 (2名)
代表 小野周一

会派に所属して
いない議員 (3名)

佐藤悦子 佐藤卓也 高橋富美子

※平成23年6月21日設置



副議長
小嶋 富 弥

新議会の

5月19日、臨時会を開催し、 新しい議会の構成を決定し

議場案内

議会事務局長 柳橋 弘
議長 沼澤 恵一

議会事務局	
会計管理者兼会計課長 小山田 昭	生涯スポーツ課長 月野 隆
生涯学習課長 近岡 晃一	選挙管理委員会事務局長 小野 享
農業委員会事務局長 沼沢 充広	農林課長 五十嵐 正臣
監査委員事務局長 松田 裕一	環境課長 坂本 清一
学校教育課長 栗田 正人	福祉事務所長 今川 吉幸
教育次長兼教育総務課長 柿崎 憲一	

健康課長 清水 幹也	商工観光課長 田口 富士雄	都市整備課長 安食 敬二	上下水道課長 星川 俊也
税務課長 小野 孝一	市民課長 川田 美浪	神室荘長 信夫 友子	環境課長 坂本 清一
総務課長 伊藤 元昭	総合政策課長 野崎 勉	財政課長 高橋 則雄	農林課長 五十嵐 正臣
			福祉事務所長 今川 吉幸

演壇

選挙管理委員会委員長 矢作 勝彦	農業委員会会長 星川 豊	監査委員 高山 孝治	教育長 武田 一夫	教育委員長 山村 明徳
------------------	--------------	------------	-----------	-------------

市長 山尾 順紀	副市長 国分 政嗣
----------	-----------

6番 佐藤 義一 5番 石川 正志

4番 小野 周一 3番 平向 岩雄

2番 佐藤 卓也 1番 佐藤 悦子

12番 清水 清秋 11番 小嶋 富弥

10番 伊藤 操 9番 高橋 富美子

8番 沼澤 恵一 7番 奥山 省三

18番 森 儀一 17番 山口 吉静

16番 下山 准一 15番 新田 道尋

14番 遠藤 敏信 13番 小関 淳

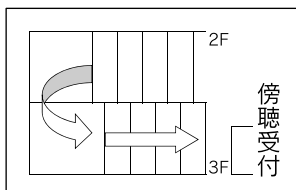
傍聴席

記者席

入口

【新庄市監査委員(議会推薦)】

奥山 省三



【最上広域市町村圏事務組合議会議員】

議長 沼澤 恵一	佐藤 義一
小関 淳	遠藤 敏信

6月定例会で審議された議案等

Table with 4 columns: 種類, 番号, 件名, 結果. Includes sections for Mayor's proposals and Council/Committee proposals.

5月臨時会で審議された議案等

Table with 4 columns: 種類, 番号, 件名, 結果. Includes Mayor's proposals and Council proposals.

請願の審議結果

Table with 4 columns: 件名, 請願者, 紹介議員, 結果. Details the petition for 23 pneumonia vaccine funding.

提出した意見書、要望書

◆23価肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書

人権擁護委員 新庄市常葉町3番51号 渡辺 庄二 新庄市大字飛田 124番地 柏倉 政

ひとのうごき

6月10日の定例会初日に委員として推薦することにつき同意された方を紹介します。

- List of committee members: 委員長 遠藤 敏信, 副委員長 石川 正志, 委員 平向 岩雄, 委員 佐藤 義一, 委員 伊藤 操, 委員 小関 淳

議会編集委員会

定数が2人減り、議員18名での新しい議会がスタートしました。改選にあたり勇退された方もおり、結果5人の新人を迎えることになりました。定数が減じたことに伴い議会の運営構成も変わりました。3つあった常任委員会（総務、文教厚生、産業建設）が、総務文教と産業厚生、の2つの常任委員会に統合されました。一同、より気を引き締めて臨みたいと思っております。加えて、ここ2年ほど懸案事項であった議会改革への具体的道筋を探るため、「議会改革特別委員会」を設置し、議会における基本条例の制定を目指して本格的に動き出しました。市民と議会全体がもつと近くて、理解し合える関係を築くためのシステムが作られることになるはず。と、ここで、新庄の議会だよりは基本的に小学5年生が読んでわかる紙面づくりを念頭においています。見やすく、読みやすい紙面づくりを心がけたいと思います。皆様のご意見をお寄せ下さい。

議会報編集委員長 遠藤敏信

あとりぎ

